

平成30年度浜田市決算状況をお知らせします

平成30年度の一般会計決算状況は、歳入決算額が412億509万円（対前年度比5.0%増）、歳出決算額が406億1,753万円（対前年度比5.2%増）、翌年度へ繰り越す財源1億348万円を除いた実質収支で4億8,408万円の剰余金が生じました。引き続き高い水準で推移する社会保障関係経費（民生費）とともに、平成29年7月・平成30年7月及び9月の豪雨災害復旧事業の影響で厳しい財政運営となっています。今後も行財政改革実施計画を着実に推進し、持続可能な財政体質の確立に努める必要があります。

歳出総額 406億1,753万円

区分	具体的内容
総務費	庁舎の管理・徴税・地域振興などに使いました。
民生費	子育て支援・高齢者や障がいのある人への支援・生活保護などに使いました。
衛生費	ごみ処理や火葬場の維持・病気の予防・環境保全などに使いました。
農林水産業費	農業や林業・漁業の振興などに使いました。
商工費	商業や工業・観光の振興・企業誘致などに使いました。
土木費	道路や河川・公園・住宅の整備などに使いました。
消防費	消火活動・救急救命などに使いました。
教育費	小中学校・幼稚園・公民館の運営・文化財保護・生涯学習などに使いました。
公債費	借金の返済に使いました。
その他	議会の運営・災害復旧・勤労青少年ホームの運営などに使いました。

平成30年度に実施した事業



普通教室エアコン整備事業
(事業費1億732万円)



運動施設改修事業
(事業費1億4,135万円)

歳入歳出差引額 5億8,756万円

【内訳】

- ・翌年度繰越金 1億 348万円…令和元年度に延長して行う事業に充てられます。
- ・剰余金 4億8,408万円…「財政調整基金」に積み立てるほか翌年度の自主財として活用します。

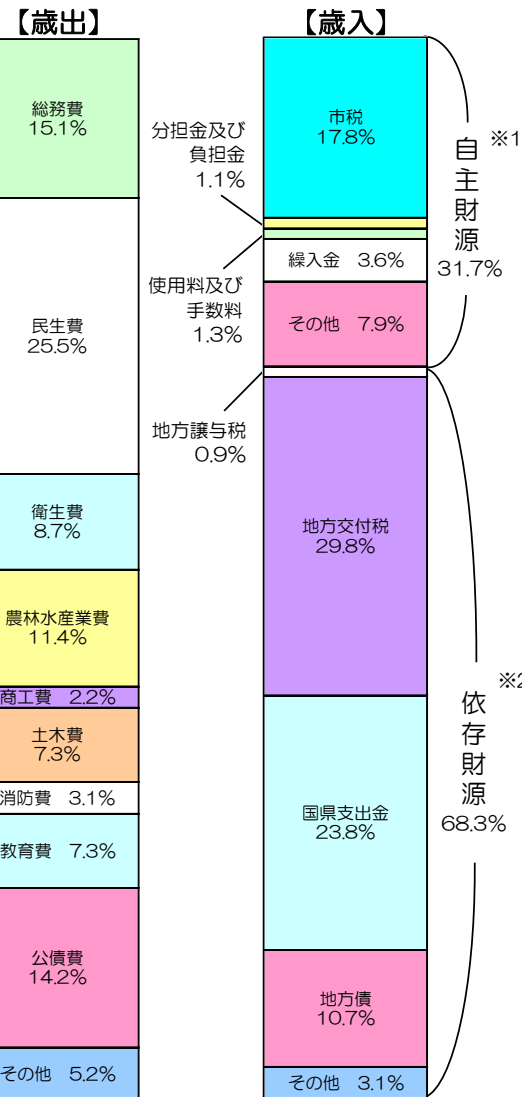
浜田市の会計には、一般会計のほか、特定の収入で支出を賄う特別会計が8あります。また、地方公営企業法の適用を受け、独立採算制を原則とした水道事業、工業用水道事業の公営企業会計があります。

■公営企業会計 (単位：千円)

会計名	歳入	歳出
水道事業	2,135,745	1,922,583
工業用水道事業	128,852	104,630

■特別会計 (単位：千円)

会計名	歳入	歳出
国民健康保険	6,849,179	6,803,595
駐車場事業	36,389	36,363
公設水産物仲買売場	18,423	15,820
農業集落排水事業	679,199	679,028
漁業集落排水事業	45,769	45,761
生活排水処理事業	56,176	56,148
後期高齢者医療	793,740	777,637



歳入総額 412億509万円

区分	具体的内容
市税	皆さんが納めた税金です。市民税・固定資産税・軽自動車税・たばこ税・入湯税があります。
分担金及び負担金	特定のサービスを受ける人に負担してもらったお金です。保育料・福祉施設入所負担金などがあります。
使用料及び手数料	市の施設の使用料や、住民票の発行手数料などです。
繰入金	基金（市の預金）を取り崩したり、特別会計（ページ左下参照）から移し入れたお金です。
その他	預金利子や市の貸付けの返済金・事業受託収入・寄附金などがあります。
地方譲与税	国が徴収した揮発油税や自動車重量税などのうち、一定基準が市に配分されます。
地方交付税	市税収入の少ない市でも、市民に一定水準のサービスが行えるよう、国から交付されるお金です。所得税や法人税・消費税・酒税などを配分しています。
国県支出金	市が行う事業に対し、国や県が補助したり負担するお金です。
地方債	多額の経費がかかる事業（道路改修や災害復旧など）を行うために、国や銀行から借りたお金です。
その他	地方消費税交付金・交通安全対策特別交付金・地方特例交付金・自動車取得税交付金・配当割交付金などがあります。

※1 自主財源：浜田市が自らの権限で調達できる収入のことで。

※2 依存財源：国や県により交付されたり、割り当てられたりする収入や、政府・銀行などから借り入れた収入のことで。

浜田市の財政指数

指数名	内容	平成30年度 算定結果	財政健全化法	
			早期健全化基準	財政再生基準
実質赤字率	1年間の標準的な収入と比較した、一般会計の赤字額の割合です。	—	12.46%	20.00%
連結実質赤字率	1年間の標準的な収入と比較した、特別会計や公営企業会計を含む全ての会計を合算した赤字額の割合です。	—	17.46%	30.00%
実質公債費比率 (3ヵ年平均)	1年間の標準的な収入と比較した、一般会計が負担する借金などの返済額の割合です。	10.5%	25.0%	35.0%
将来負担率	1年間の標準的な収入と比較した、将来一般会計が返済する借金などの負担割合です。	59.5%	350.0%	—

浜田さん家の1か月分の家計簿をみましょう!!

※決算額（一般会計）を1万分の1に縮小し、さらに12分の1にして1か月分の家計簿風にしてみると…

支出		市の性質別区分	金額	収入		市の性質別区分	金額
食費	4万9千円	人件費	4万9千円	給料	6万1千円	市税	6万1千円
光熱水費・日用雑貨代	3万5千円	物件費	3万5千円	家賃収入	3万5千円	使用料及び手数料など	3万5千円
医療費・保育料など	5万6千円	扶助費	5万6千円	預金の取崩し	1万2千円	繰入金	1万2千円
ローンの返済金	4万8千円	公債費	4万8千円	親からの援助	11万6千円	地方交付税・地方譲与税など	11万6千円
子どもへの仕送り	3万円	繰出金	3万円	兄弟からの援助	8万2千円	国県支出金	8万2千円
家の増築費・新車購入	6万7千円	普通建設費・災害復旧費	6万7千円	借金	3万7千円	地方債	3万7千円
町内会費・ご祝儀など	3万5千円	補助費など	3万5千円	収入合計	34万3千円		
定期預金	1万4千円	積立金	1万4千円				
家や車の修理代・友人へ貸したお金	4千円	維持補修費・貸付金・投資及び出資金	4千円				
支出合計	33万8千円						

収入合計から支出合計を差し引いた金額は、毎月約5千円、1年で約5万9千円となりました。そのうち、約1万円を翌年度に持っていき、残った約4万9千円を『財政調整基金』銀行などに預金しました。

